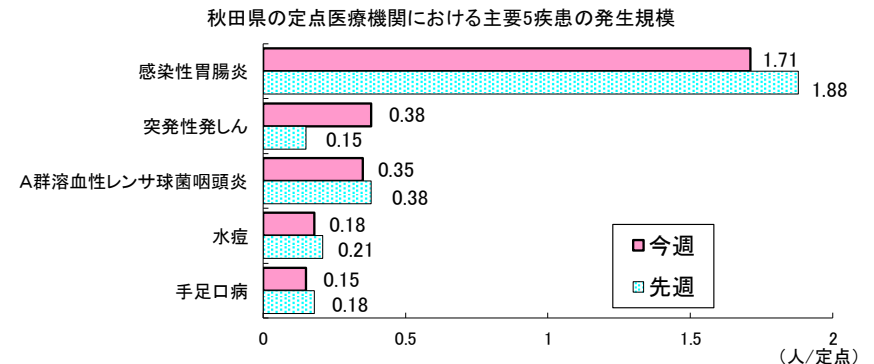




【第47週の発生動向】

< 定点把握対象疾患(週報)・前週比 >

1. 感染性胃腸炎は、県全体で9%減少しています。保健所別では、秋田市、秋田中央、大仙、湯沢で増加、大館、北秋田、能代、横手で減少しています。
2. 突発性発しんは、県全体で2.5倍に増加しています。保健所別では、秋田市、大館、秋田中央、由利本荘、横手で増加、北秋田、湯沢で同規模となっています。
3. A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は、県全体で8%減少しています。保健所別では、大仙で増加、秋田中央、横手で同規模、秋田市、大館で減少しています。



発生報告

< 五類定点対象疾患(週報) >

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減	第46週	第47週	増減			
RSウイルス感染症		0.09	↗		0.29	↗					0.50	↗																		
インフルエンザ																														
咽頭結膜熱	0.09	0.03	↘				0.50		↘									0.25	0.25											
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.38	0.35	↘	0.29	0.14	↘	1.50	1.00	↘						0.75	0.75				0.25	0.75	↗	0.33	0.33						
感染性胃腸炎	1.88	1.71	↘	1.86	2.00	↗	4.50	2.75	↘	6.00	3.00	↘	3.67	2.67	↘	1.25	1.75	↗			0.50	2.25	↗	1.00	0.67	↘		0.33	↗	
水痘	0.21	0.18	↘				0.25	0.50	↗				0.33		↘	1.25	1.00	↘												
手足口病	0.18	0.15	↘				1.50	1.25	↘																					
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.15	0.38	↗	0.29	0.86	↗	0.25	0.50	↗	0.50	0.50						0.25	↗		0.25	↗			0.33	↗	0.33	↗	0.33	↗	
ヘルパンギーナ	0.06		↘	0.29		↘																								
流行性耳下腺炎	0.03	0.03													0.25		↘		0.25	↗										
川崎病		0.06	↗																					0.67	↗					
急性出血性結膜炎		0.14	↗							*	*		*	*		*	*							1.00	↗	*	*			
流行性角結膜炎	0.14		↘							*	*		*	*		*	*							1.00		↘	*	*		
細菌性髄膜炎															*	*														
無菌性髄膜炎															*	*														
マイコプラズマ肺炎															*	*														
クラミジア肺炎(オウム病を除く)															*	*														
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)															*	*														

(注) 表の数値は、観測定点としている県内の医療機関から報告された患者報告数を、1定点あたりに換算した人数を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は全ての定点で当該週における患者の報告数がなかったことを示します。



発生報告

<全数把握対象疾患>

・二類感染症の結核が由利本荘保健所管内から1人、報告されました。

・四類感染症のレジオネラ症が大館保健所管内から1人、報告されました。

<全数把握疾患>

類型	疾患名	1週-46週		47週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
	急性灰白髄炎			
二類	結核	13933	62	1
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
	コレラ			
	細菌性赤痢	7		
三類	腸管出血性大腸菌感染症	2901	21	
	腸チフス	3		
	パラチフス			
四類	E型肝炎	383		
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	64		
	エキノкокクス症	23		
	黄熱			
	オウム病	8		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	8		
	キャサナル森林病			
	Q熱	1		
	狂犬病			
	コクシジオイデス症			
	サル痘			
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	109		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
ダニ媒介脳炎				
炭疽				

類型	疾患名	1週-46週		47週
		全国	秋田	秋田
四類	チクングニア熱			
	つつが虫病	250	2	
	デング熱	6		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			
	日本紅斑熱	470		
	日本脳炎	3		
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症	1		
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ポツリヌス症	5		
	マラリア	25		
	野兔病			
	ライム病	21		
	リッサウイルス感染症			
	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	1901	21	1
レプトスピラ症	32			
ロッキー山紅斑熱				
五類	アメーバ赤痢	464	2	
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	169	3	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	1770	28	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	21		
	急性脳炎	291		
	クリプトスポリジウム症	5		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	160	1	
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	559	4	
	後天性免疫不全症候群	925	2	
	ジアルジア症	34		
	優襲性インフルエンザ菌感染症	170	1	
	優襲性髄膜炎菌感染症	2		
	優襲性肺炎球菌感染症	1184	9	
	水痘(入院例に限る)	252	5	
	先天性風しん症候群	1		
	梅毒	6789	37	
	播種性クリプトコックス症	134		
	破傷風	85		
	パンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症			
	パンコマイシン耐性腸球菌感染症	109		
百日咳	570	4		
風しん	11			
麻しん	5			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	4			
* 新型コロナウイルス感染症		1776		

* 新型インフルエンザ等感染症

トピック

<カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の発生状況について>

カルバペネム耐性腸内細菌科細菌(GRE)感染症の報告が、全国で第46週までに1,770人、秋田県内で第47週までに28人なされています。全国の患者報告数は昨年からの減少傾向を示していますが、県内では増加しており(図)、注意が必要です。

■病原体

腸内細菌科細菌には大腸菌、クレブシエラやエンテロバクターなど私たちの腸内に生息している多くの細菌が含まれます。薬剤耐性のメカニズムにはいくつかありますが、これらの腸内細菌科細菌は様々な薬剤耐性遺伝子を獲得することによって耐性化する場合があります。特に、GREは各種の抗菌薬に耐性を示すことが多く、難治性の感染を起こしやすいとされています。

■症状

症状は様々で、尿路、呼吸器、手術部位への感染の他、髄膜炎や菌血症といった症状を引き起こします。薬剤耐性によって菌そのものの病原性が強くなるわけではありませんが、免疫力の低下している患者、外科手術後の患者や抗菌薬を長期にわたって使用している患者では、十分な注意が必要です。

■予防

感染対策としては、日頃から手洗いを徹底するなどの接触感染への対策が重要です。また、間違った抗菌薬の使い方をすると、薬剤耐性菌を増やしてしまう可能性があります。処方された抗菌薬については、医師の指示に従って用法・用量をしっかりと守りましょう。

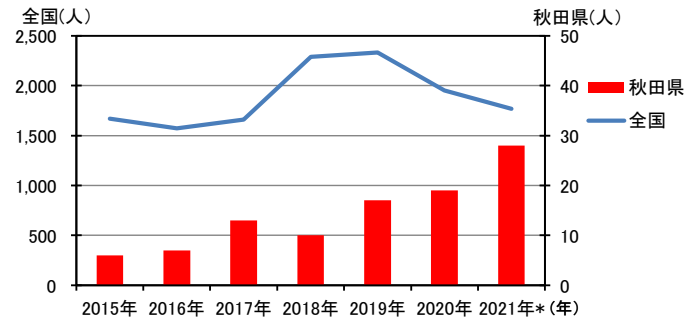


図 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の年別報告数

*: 全国は第46週、秋田県は第47週まで

感染性胃腸炎の集団発生状況

感染性胃腸炎の集団発生報告が1件ありました。

所在地	施設名	報告日	有症者数			把握期間	症状
			利用者(園児)	職員	計		
北秋田市	鷹巣中央保育園	11/22	109名のうち12名	29名のうち0名	12名	11/19 ~ 11/22	嘔吐、下痢



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
水痘	秋田中央(1.00)	-
急性出血性結膜炎	-	横手(1.00)

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	対象疾患		基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		